

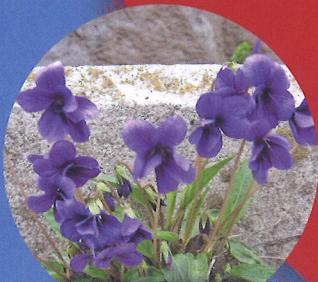
KOMORO

信州
小諸

信州 小諸

KOMORO

詩情あふれる高原の城下町



コモロスミレ(市の花)
[5月上旬～5月下旬]



小諸八重紅枝垂
[4月中旬～4月下旬]



こもろ観光局



HP



twitter



facebook

詩情あふれる 高原の城下町

全国で唯一、城郭部が城下町よりも低い位置にある『穴城』である小諸城は、豊臣秀吉配下の武将・仙石秀久が城主となり、本格的な城下町整備が進められました。また、火山灰土が侵食されて形成した『田切地形』を天然の堀として利用した難攻不落の要塞です。

江戸時代には、江戸と加賀百万石を結ぶ北国街道の小諸宿が形成され、信濃の要所として発展してきました。

明治時代に入ると、島崎藤村をはじめとする数々の文化人が小諸を愛し、浅間山や千曲川、小諸の町並みなどを歌詩や絵画に表現されています。

小諸懐古

文化人に愛される処。

詩情豊かな風景は文人の心に創作の息吹を与え続けた「信州小諸」



島崎藤村

しまざき とうそん

小諸を愛した文豪の足跡を辿る

長野県木曾の山口村(現岐阜県中津川市)で生まれた島崎藤村は、恩師である小諸義塾の塾長木村熊二の勧めにより、明治32年4月に東京から赴任し、小諸義塾の国語と英語の教師として約6年間の小諸時代を過ごしました。すでに誌で著名となっていましたが、小諸時代には小説への意欲を育みました。小諸なる古城のほどり…で始まる『千曲川旅情のうた』の詩碑が懐古園内の千曲川を見下ろす展望台のすぐ脇にあります。

こもろ観光ガイド協会
望月 光江さん

偉人に愛された
小諸の雰囲気を
味わって
みませんか？



小山敬三

こやま けいぞう

洋画家、明治30年小諸市生まれ。島崎藤村のアドバイスによりフランスへ留学。帰国後は茅ヶ崎のアトリエで創作に没頭するかたわら日仏両国の絵画展審査員を歴任しました。昭和62年89歳で逝去。

文化勲章受章 小諸市名誉市民



高濱虚子

たかはま きよし

明治7年愛媛県松山生まれの俳人。俳誌『ホトギス』を中心とした文芸活動で俊秀として活躍しました。太平洋戦争の戦火を避け70歳のときに小諸へ疎開、3年余の小諸時代の住居が虚子庵として残っています。



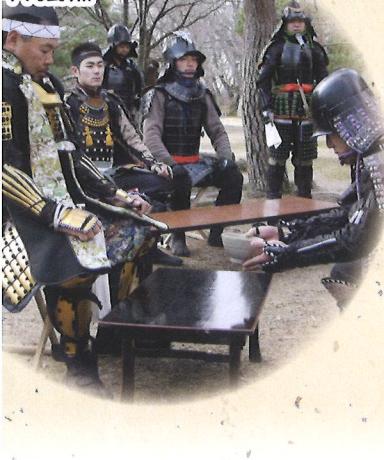
白鳥映雪

しらどり えいせつ

日本画家、大正元年小諸市生まれ。小諸に疎開中の伊東深水に師事し、寝食をともにした指導を受けました。平成19年95歳で逝去するまで小諸市内のアトリエで絵筆を振りました。

日本芸術院会員 小諸市名誉市民





歴史が奏でる いにしえの旋律

小諸城址 懐古園

散策目安時間
約60分

懐古園は、小諸城の三の門から本丸にいたる城の中核部分が、公園として整備されたものです。
苔むした石垣、古木、切り立った崖、千曲川の流れ、そのなかで毎年再生する草花。
たたずむ人をいにしえに誘う、こころ洗われるふしげな空間です。

日本百名城

日本さくら名所100選

小諸城の歴史を、
情緒あふれる人力車
でご案内いたします！



小諸城三の門 [C-1]

徳川家達筆「懐古園」の額がかかる小諸城本丸から3番目の門。元和元年(1615年)城主仙石秀久により創建されましたが江戸中期の大洪水で流失し、明和2年(1765年)に再建されました。



懐古園微古館 [C-2]

三の門を入って左の重厚な建物。小諸城や歴代城主ゆかりの武具・古文書・生活道具などが陳列されています。懐古園共通券で入館できます。



藤村記念館 [B-1]

懐古園内にある建築家谷口吉郎博士設計による、簡素ですが高雅な建物です。藤村作品の初版本をはじめ、自宅で愛用した道具や直筆の原稿などが展示されています。



小諸義塾記念館 [C-2]

明治26年に創設された小諸義塾には、国語と英語で島崎藤村、理科は鮫島晋、美術は三宅克己や丸山晩霞らが教鞭を執りました。当時の校舎本館を移築した記念館には当時の資料が展示されています。



小山敬三美術館 [A-1]

洋画家小山敬三の代表作『紅浅間』をはじめ多くの作品が展示されています。村野藤吾(文化勲章受章)設計の建物もユニークです。隣接してフランスから帰国した画伯が茅ヶ崎に建てたアトリエが移築されています。



島崎藤村
「千曲川旅情のうた」詩碑 [A-2]

醉月橋を右に、あづま屋を左に見て直進すると、自筆を彫刻した碑が涼しげに建っています。詩を読んでから展望台へ。崖の下には千曲川が、とうとう流れています。



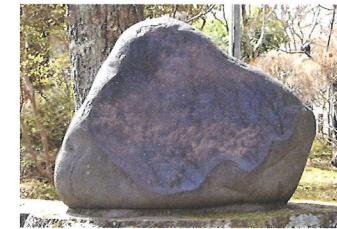
水の手展望台 [A-2]

藤村詩碑からすぐ先の岩上にあづま屋があり、ここから西方が大きく開け、千曲川を見おろすことができます。真下には、落城時に密かに脱出する抜け道がありました。動物園につながるつり橋の脇に、もうひとつ富士見展望台があります。



憩石(いこいいし) [C-1]

懐古園入口の三の門左側花見櫻跡にあります。慶長5年、第二次上田合戦において、徳川本隊が、上田城仕置のため小諸城に本陣を置いた際、徳川秀忠公が座つたと伝えられています。



鏡石(かがみいし) [B-2]

懐古園本丸跡庭園にあります。武田信玄の軍師で小諸城の縄張りをした山本勘助が愛用したと伝えられています。



[C-2] [B-3]

小諸市動物園、小諸市児童遊園地



県内最古の歴史ある動物園では「ペンギンの流しアジ」などのイベントがもりだくさん! 児童遊園地もあり、親子で楽しめます。ツインドラゴンもあるよ!



小諸八重紅枝垂

小諸固有種の桜である「小諸八重紅枝垂(コモロヤエベニシダレ)」は、八重の花弁と花の色の濃さが特徴で毎年美しい花を咲かせています。



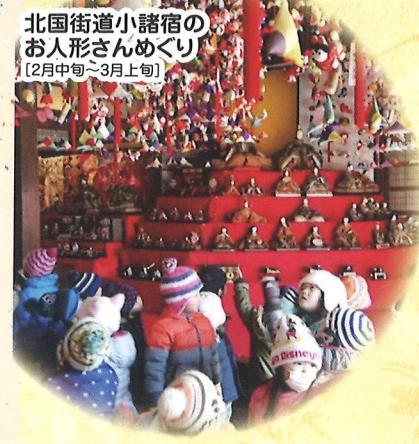
水明楼

小諸義塾長木村熊二の書斎。懐古園の南西、千曲川へ下る坂の中腹にあります。塾講師の藤村もたびたび訪ね詩情を育みました。



小諸城は全国で唯一、城下町より低い位置にある「穴城」!
天然の地形を利用した先人の知恵が感じられますぞ!





北国街道小諸宿の
お人形さんめぐり
[2月中旬～3月上旬]

歴史の町並み この地が育んだ 文化と芸術 北国街道 小諸宿

小諸城の大手門から東は城下町の生活の場、町人たちの息遣いが感じられます。ことに北国街道沿いの本町や荒町、与良町は“商都”と言われ、小諸の代表的商家が軒を連ねていました。豊かな生活は、学問や芸術のこころを育てました。現在もその面影を感じられる町並みになっており、町歩きも楽しめます。

北国街道の町歩きや、
老舗での体験プログラム
に参加してみるのも
おすすめです！



ほんまち町屋館 [a-2]

本町の中央に、味噌と醤油業を営んでいた商家を利用した観光案内所兼休憩所があります。建物の奥には「みはらし庭」があり、美しい山々を眺めることができます。

北国街道 商家の町並み [a-2]

**藤村とその妻
冬子も使っていた井戸 [a-2]**

小諸駅を背にして駅前に延びる相生町商店街から一本左の通りが北国街道。本陣問屋から続くくるい坂道には歴史ある商家が軒を連ねています。最上部のかどには成田山光岳寺があり街道はここで右へ直角に折れ、荒町・与良町へと続きます。

光岳寺 [a-1]

浄土宗の古刹。小諸宿を貫く北国街道が、東西から南北に折れる角に位置しています。街道に面して建つ高麗門は元小諸城の足柄門を移築したものです。

旧小諸本陣問屋場 [a-3]

北国街道小諸宿の本陣。加賀百万石の大行列も利用しました。問屋とは、宿泊者等の荷物の請け渡しを行う施設です。

本陣主屋 [b-3]

本陣主屋は、小諸宿を通る参勤交代の大名などが休泊した建物で、旧部材を可能な限り使用し、間取り、寸法なども当時に忠実に移築再現されています。建物の公開と同時に歴史資料館として開館しました。手作り小物の販売のほか、織物体验教室なども行っています。



**小諸観光交流館 (一般社団法人
こもろ観光局) [b-3]**

小諸観光交流館は、明治時代後期から大正にかけて造られた蔵問屋を修理修景により改装した建物です。(一社)こもろ観光局の拠点として活用されており、ご案内や各種パンフレット等の情報を取り揃えています。小諸ならではの魅力ある滞在プログラムも発信しています。



高濱虚子記念館 [c-1]

温暖な伊予松山生まれの虚子にとって信州の山国での生活は虚子文学を更に発展させるエネルギーとなり、句作のほか小説の執筆にも励み名作を残しました。小諸での住まいだった虚子庵に隣接し、直筆の屏風や愛用の品々が展示されています。



停車場ガーデン [b-3]

園内にはガーデンショップがあり、多彩な花々、観葉植物など、園芸用品を取り扱っています。また、特産品の販売の他、カフェテラスも開設されており、市民や観光客の憩いの場として賑わっています。2014年には『緑の環境デザイン賞 25周年記念継続優良賞』にノミネートされ、最高賞である『国土交通大臣賞』を受賞するなど、管理活用方法も注目されています。



旧脇本陣の宿 兼屋 [a-3]

江戸情緒残る北国街道小諸宿、旧脇本陣に宿泊できる珍しいお宿。昔ながらの街並みを残した北国街道、江戸時代から昭和の旅人たちが一息ついた情緒あふれる旅籠の魅力をこの小諸宿で感じてみませんか。

私のおすすめスポットは、
北国街道沿いのミステリアス
な骨董屋さんです。
数軒あるので、町歩きを
しながら探してみてね！



浅間山、高峰高原



登山、トレッキング、冬はスキー・スノーボードetc 標高2000メートルの雄大な自然を楽しめます。

標高2000メートルの高峰高原は、春から秋はハイキングやトレッキングで、冬はスキーやスノーボードなどウィンタースポーツで賑わいます。車坂峠へは小諸駅からバスやマイカーで25分ほど。佐久平全域が一望できます。



千曲川沿いの標高600mから、高峰高原の標高2,000mまで、さまざまな景色をみせてくれます。あなただけのおすすめ絶景ポイントをみつけてみてね!



布引観音

觀音様が化身した牛が、信心の浅い老婆を善光寺に導き改悛させたという“牛に引かれて善光寺参り”の發祥の地で、行基が開いた天台宗の名刹です。



●マンズワイン小諸ワイナリー

小諸は、世界のワインの名醸地に良く似た気候であり、ワイン用のぶどうの栽培に適した土地といわれています。小諸にあるワイナリーでは、地元で収穫したぶどうを使ってプレミアムクラスのワインの生産をしています。試飲もできるほか、ワイン関連品の品揃え豊富な直売所、地元食材を豊富に使ったレストラン、美しく整備された日本庭園もあります。



●小諸高原美術館 白鳥映雪館

郷土の美術家の作品のほか小諸義塾で美術教師をしていた三宅克己や丸山晩霞の作品も展示。白鳥映雪館は小諸出身の画伯の作品に加え、恩師伊東深水の作品も。



●ハロー・アニマル 長野県動物愛護センター

犬・猫・うさぎ・モルモット・ヤギなどの動物たちとふれあいを通じて、動物に関する様々なことが学べます。ペット動物に関するあなたの悩みを解決してくれます。



周辺のご案内
小諸インター チェンジ

体験
ワイナリー工場見学

期間／随時

ぶどうとワインの基礎知識の解説や、ぶどう畠の案内、熟成庫の見学などできます。見学後は、国内外のコンクールを受賞できるような高級ワインの有料試飲もできます。

体験
動物とのふれあい・学習

期間／随時

長野県動物愛護センター「ハロー・アニマル」で動物とのふれあいを。質問にも的確にお答えします。

小諸歳時



1月 7日 御影の道祖神まつり

2月 中旬～3月上旬 北国街道小諸宿のお人形さんめぐり

3月 上旬 わら馬パレード



下旬 アサマ2000パーク スキー場感謝祭



4月 上旬～下旬 小諸城址懐古園 桜まつり



下旬 虚子・こもろ全国俳句大会

5月 上旬 浅間山開き

上旬 菜の花まつり

6月 中旬

花菖蒲まつり



中旬

草笛コンサート



中旬

市民まつり「みこし」



8月 上旬

市民まつり「ドカンショ」

12日

小諸相生町「花市」

22日

藤村忌／藤村記念館

下旬

アサマスタークロスウォーク

9月 上旬

八朔相撲

10月 上旬

信州小諸ふーどまつり

下旬

東信菊花展

中旬～11月中旬

小諸城址懐古園 紅葉まつり

下旬

マンズワイン収穫祭

11月 下旬

アサマ2000パーク スキー場開き

小諸市 地産地消推進キャラクター こもるん

東信菊花展

東信とは東信州のこと。文化人の多い小諸のほか近隣市町村の園芸家が参加し技術と美しさを競います。



体験 いちご狩り



期間／1月～6月

冬の寒さも気にならないハウスの中ですくすく育った大粒のいちご。時間無制限で食べ放題です。

体験 ハーブ園

期間／6月下旬～8月上旬

高原育ちの健康なハーブを、広大な畑で摘み取りできます。

体験 農業体験



申込／7月中旬～9月下旬

小諸特産の白いもや、野菜の収穫体験、田んぼでの作業、間伐体験など様々な体験ができます。収穫した新鮮な野菜を使って料理を作る体験プログラムもおすすめです。

体験 りんご狩り



期間／8月～12月中旬

晩夏から晩秋にかけて浅間高原で実る小諸のりんごは、信州の果物の王様です。信州でも特に標高が高く、朝晩の寒暖差が大きいこの小諸で育ったりんごは実が引き締まり、甘みの多い豊かな味わいになります。

体験 そば打ち体験



期間／通年

江戸蕎麦の発祥と言われる信州小諸そば。この蕎麦切りの文化は、小諸城主・仙石秀久(初代小諸藩主)から伝承されました。医学的にも健康に良いとされる蕎麦。日本の文化として、海外からも注目を浴びています。

体験 スターウォッチング



期間／通年

標高2,000mの高原で、専門スタッフが星雲や季節の星座を解説。周辺の明かりが少なく、空気が澄んでいる高原の星空は、都会では想像できないほどの美しさです。運が良ければ雲海とのコラボレーションを楽しめるかも。

登山、スキー、散策で疲れたら…

温泉



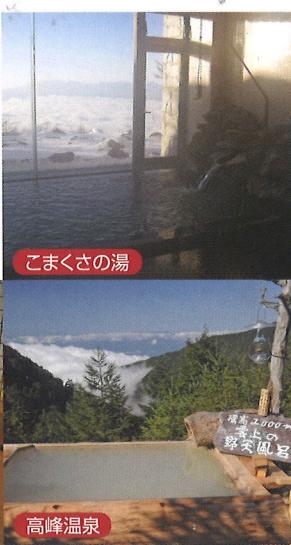
ゆったりのんびり日頃の疲れを癒してくれる名湯があります。
日帰り入浴も可能です。



菱野温泉



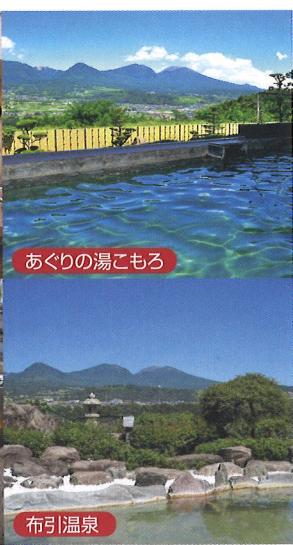
天狗温泉



高峰温泉



中棚温泉



あぐりの湯こもろ

布引温泉



●大阪・名古屋から

車	大阪	名神高速道路	小牧JCT	中央自動車道	岡谷JCT	長野自動車道	更埴JCT	上信越自動車道	小諸I.C
高速バス									
	大阪・京都	名神高速道路～中央自動車道～長野自動車道～上信越自動車道						小諸駅	

●新潟から

車	新潟中央I.C	北陸自動車道	上越JCT	上信越自動車道	小諸I.C		
鉄道	新潟駅	上越新幹線	高崎駅	北陸新幹線	佐久平駅	JR小海線	小諸駅
	新潟駅	越後線・信越本線	妙高高原駅	しなの鉄道	長野駅	しなの鉄道	小諸駅

●東京から

車	練馬I.C	関越自動車道	藤岡JCT	上信越自動車道	小諸I.C
高速バス	池袋・立川	関越自動車道	上信越自動車道	小諸駅	
	千曲バス(共同運行・西武高原バス)				
	新宿	関越自動車道	上信越自動車道	小諸駅	
		JRバス			
鉄道	東京駅	北陸新幹線	軽井沢駅	しなの鉄道	小諸駅
	東京駅	北陸新幹線	佐久平駅	JR小海線	小諸駅
	新宿駅	JR中央本線	小淵沢駅	JR小海線	小諸駅



お問い合わせ

◆観光・宿泊・ガイドのご案内

小諸市観光案内所 TEL.0267-22-0568 FAX.0267-25-3380

※掲載されている内容・名称等は全て発行時のものです。現在とは異なる場合もありますのであらかじめご了承下さい。